

会員企業の特典（労働保険事務手続き代行サービス）のご案内

会員企業のメリットについて、少し詳細に記載しましたので、お知り合いの方の加入勧誘にお役立てください。

中野工業産業協会は労働保険事務組合として厚生労働大臣から認可を受けています。

これにより会員企業である中小企業主（表2）の方は、割安な費用（表1）で労働保険事務を委託することができます。

【表1】

適用人数	月額手数料
～4人	2,900円
5人～15人	4,100円
16人～35人	5,300円
36人以上	打合せの上決定

【表2】

業種	労働者数
金融、保険、不動産、 小売、飲食業	50人以下
卸売業、サービス業	100人以下
上記以外の業種	300人以下

当会に依頼されると

- 1) 事業主の方の事務処理の軽減
 - 2) 保険料の額にかかわらず保険料を年間3回に分けて納付できる
 - 3) 事業主及び家族従事者も労災保険に特別加入ができる
 - 4) 海外派遣者も労災保険に特別加入することができる
- ※3)、4)の特別加入については、1人あたり年間別途3,000円の手数料を申し受けます。

具体的に委託できる事務内容は

- 1) 保険関係成立届・雇用保険の事務所設置届の提出などに関する事
- 2) 労働保険料などの申告・納付に関する事
- 3) 労災保険の特別加入申請、変更、脱退届に関する事
- 4) 雇用保険の事業所及び被保険者の届け出に関する事
入・退社の際の雇用保険事務手続き（雇用保険被保険者資格取得・喪失、離職票など）
高年齢継続雇用・介護休業・育児休業給付金の初回申請時の賃金証明書の作成申請手続き
- 5) その他労働保険の適用徴収についての申請・届出・報告などに関する事

なお、印紙保険料に関する事並びに労災保険及び雇用保険の保険料給付に関する請求、雇用安定事業・能力開発事業に関する手続きは受託できません。

【中野工業産業協会事務局】

〒164-0001 中野区中野2-13-14 中野区産業振興センター2階

TEL：03-3380-1122 FAX：03-3380-1123 MAIL：info@kousankai-nakano.jp

中野工業産業協会ホームページ <http://kousankai-nakano.jp/>

中野工業産業協会 会報

No.193(令和2年8月11日)

〒164-0001中野区中野2-13-14
中野区産業振興センター2階
TEL 03(3380)1122 FAX 03(3380)1123



80歳になる前に後継者に会長職を代わってもらうつもりで、4年前から話し合いをしてきました。今回は、私が指名した人が会長職を引き受けるということになっていましたが、指名を受けてもらえなかったことは残念です。次期会長を引き受けるという方に確約を頂き、あと2年（2022年6月まで）会長職をお引き受けすることになりました。精いっぱい頑張るつもりですのでよろしくお願い致します。

工産会の状況を考えると、会員企業を増やし会費収入を増やすことが喫緊の課題です。このためには、工産会の役割を明確に説明でき、これに賛同してもらうことが重要です。

私なりに工産会の役割を考えると、①事務組合として会員企業事業主の事務処理の軽減と特別加入制度による事業主の補償 ②会員企業の事業継続・発展のために必要な事項の行政への働きかけ ③親睦行事を通じての会員企業間の情報交換とビジネスチャンスの創生 ④新しい知見を得るための研修会の実施 ⑤サプライサイドに立って中野区の産業振興を推進してくれる政党（例えば自民党）の応援ではないかと考えています。来年には都議会選挙もありぜひとも中野区の産業振興を推進してくれる政党や議員を会として応援をしたいと思えます。

中野にはもともと製造業が多くあり、それが工産会の母体でありましたが、住宅都市中野という行政の方針変更とともに工場は中野から外に出て行き跡地はマンションとなったところが多いようです。

これらのマンションもその後の用途地域の変更に伴い既存不適格となっているにもかかわらず、建て替えメリットがなく放置されていると思われます。

令和元年10月に「用途地域等に関する指定方針及び指定基準」が東京都から発表され、ここに2040年代に目指すべき都市の姿とその実現に向けた、「都市づくりのグランドデザイン」が策定されています。この内容が、会員企業が抱えている既存不適格の問題にどのように影響するのか検討する必要があるように思えます。

現在、駅を中心とした再開発事業が目白押しに進められており、しかも開発事業者が異なる状況にあります。これによってできてくる公共空間の利活用を図り中野の価値を上げるために、昨年設立したエリアマネジメント研究会（産官学金で構成）で知恵を絞り中野にふさわしいエリアマネジメントを構築してゆくことが肝要と考えています。

以上のような事業は上部団体のある組織ではなかなか意思決定が迅速に行えないところもあり、当会が率先できることに存在意義があると考えています。

会長 溝口 秀二

west53rd日本閣が2020年5月31日をもって閉館しました。

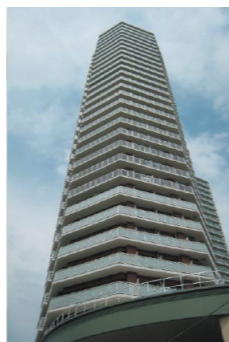
1914年（大正3年）に開館して以来、東中野のシンボリック的存在で、また当会も大変お世話になりました「west53rd日本閣」が今年5月31日をもって閉館いたしました。

日本閣の歴史は長く、割烹料亭より専門結婚式場として時代と共に変化し100年あまり。これまでの功績と感謝を込めまして、日本閣の歴史を年表形式で振り返らせて頂きます。

【日本閣の歴史】

大正9年	東中野の現在地に割烹料亭 寿々木屋を創業
昭和10年	専門結婚式場を開設 社名を合資会社日本閣と改める
昭和20年	東京大空襲のため全焼
昭和26年	社屋を新築して営業再開 社名を株式会社日本閣と改める
昭和27年	緑の森のプールを開業
昭和31年	日本館・洋室別館を増築後、社名を日本閣観光株式会社と改める
昭和39年	湖上婚儀殿を新築
昭和42年	ウエディングビル新築落成 従来の結婚式のイメージを一新
昭和51年	東京町田市に御殿山店を新築オープン
昭和56年	千葉県流山市に南柏店を新築オープン
昭和59年	御殿山店をロココ様式に改装
昭和61年	東中野店をロココ様式として増築後リニューアルオープン
平成元年	南柏店をロココ様式に改装
平成5年	南柏店に独立型チャペル『セント・ベルデュール』オープン
平成7年	東中野店 ガーデンチャペルリニューアル
平成8年	東中野店 プロヴァンスガーデンをコンセプトに『グラスチャペル』 『レストラン・アンジェリク』オープン オーダードレスサロン『アピエ・モア』オープン
平成10年	ウエディングリゾートをコンセプトに全店新会場リニューアル 業界初スタイリストによる、トータル花嫁コーディネーター 『スタイリストウエディング』開始
平成12年	東中野店の婚礼サロン『レゼルブ』リニューアル 御殿山店チャペル『キエーザ・フォルトゥーナ』リニューアル
平成13年	東中野店チャペル『イグレスシア・デ・エストレーノ』オープン
平成14年	湘南 二宮町に一軒家レストラン『BALI MODERN AURA』開業
平成15年	御殿山店を改装「花嫁のための館」として『NOCE ANGE』に名称変更
平成16年	東中野店 新ウエディング施設建設のため休業
平成17年	東中野に『west53rd日本閣』オープン
平成19年12月	東中野に『ユニゾンスクエア』オープン
平成22年1月	west53rd日本閣 チャペルにパイプオルガン設置
平成23年10月	BALI MODERN AURA オーシャンガーデン増設リニューアル

(日本閣観光株式会社HPより転載)



第39回通常総会の書面決議の結果について

新型コロナウイルス感染の影響により、本年度の理事会、通常総会は書面決議とさせていただきます。皆様にはご審議を賜り、すべてが完了いたしましたのでご報告いたします。

ご協力につき感謝を申し上げます。

記

【議案】

第1号議案	平成31年度事業報告	賛成66名	反対0名
第2号議案	平成31年度収支報告並びに会計監査報告	賛成66名	反対0名
第3号議案	平成31年度剰余金処分	賛成66名	反対0名
第4号議案	平成31年度労働保険組合事務代行、 並びに労働保険の収支及び国庫納付結果と監査報告	賛成66名	反対0名
第5号議案	令和2年度事業計画案	賛成66名	反対0名
第6号議案	令和2年度収支予算案	賛成66名	反対0名
第7号議案	令和2年～令和3年役員改選	賛成66名	反対0名

【結果】

1. 書面決議開催日 令和2年6月30日
2. 会員66社からご回答頂きました。(会員総数101社)
3. 全会一致にて承認されました。

【意見】

なし

企業訪問へ行ってきました（石田プレス工業株式会社）

会員企業にもものづくりの会社が多くありますが、現状を見ると生産現場は中野区外とし本社のみ中野区に残しているところが大半です。

そこで、新しい企画として企業を訪問し中野で創業した動機、その後どのように変わっていったのかということを残そうと思い立ち記事にまとめることとしました。

企業訪問の第一回目は、石田プレス工業（株）の安達七郎会長を訪問し創業の経緯など伺いました。

1936年に横浜工場（会長による）の依頼により、防毒マスクを生産する石田製作所を義祖父石田氏（墨田区向島出身）が、中野区中央1-18（旧小淀町18番地）に創業しましたが、1945年の空襲で全焼。

戦後米軍によりもたらされた医薬品ペニシリン（世界初の抗生物質、肺炎などの治療薬）、ストレプトマイシン（結核の治療薬）の国産化を国の政策として進めていた厚生省の方が、たまたま知り合いだった

先代の石田正さんに、これらの注射医薬品を保存するバイアル瓶のふた（バイアルキャップ）の開発・生産を持ち掛けられ、1951年石田プレス工業（株）を創業しました。

全く未知の品物ではあったが、小学校の先生を定年退職していた正さんは、持ち前の好奇心と世の中になくはないものに挑戦するという強い意志で製品を完成させ、製薬会社に納入を開始したとのことです。

1964年に埼玉県加須市に埼玉工場を創設。1970年には、本社工場が手狭になったことと近隣への騒音・振動対策もあり、現在本社がある中野区中央1-14-1に工場を移転しています。埼玉工場はその後3回にわたって増設されています。

現会長は1960年に入社され、その才能を認められ正氏のご息女と結婚。社長を経て現在も会長として本社へ出社されています。



また、現在は長男安達公佐さんが社長となって医薬品の安全性を担保するために不可欠なバイアルキャップというユニークな製品の事業に鋭意取り組んでおられます。



会員自己紹介



アサヌマコーポレーション株式会社 代表取締役社長 麻沼雅海

弊社は創業73年の化粧品OEM・ODMの会社です。2018年1月より米中の貿易戦争が始まる前までは化粧品業界はインバウンドorアウトバンドの高級化粧品が大量に売れていた「我が世の春を謳歌する」状態の業界でした。加えて昨年の12月より中国発のCOVID-19がパンデミックとなり、化粧品業界も他業界同様に不況の波を受けています。AFTERコロナの時代にはビジネススタイルをはじめ生活環境の全てが大きく変わっていくのではないかと思います。我々は資源なき日本に於いては「技術革新と国際競争力」が生命線なのだと考えており、これ無くして我々の企業は生き延びられないし発展はないと思っております。今後ともグローバルな市場で頑張っていきます。



株式会社建築設計エスカルゴ 代表取締役 鈴木 照男

大学卒業後7年間の修業時代を経て、父の仕事の手伝いをして、昭和61年10月法人設立、その後代表者として建築設計監理業を営んでいます。昭和22年8月に中野区東中野で生を受けて地元の小中学校に通い、その後も住み続けて73年余り、人一倍中野区とりわけ東中野に愛着を持っています。

今後は、今まで以上に、まちづくりや建築の仕事を通じて、中野区及び地元東中野の発展に寄与していく所存です。

第34回ボウリングフェスティバル及び研修旅行中止のお知らせ

今年も開催を予定しておりましたボウリング大会及び研修旅行ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止を受けまして、やむを得ず中止となりました。何卒よろしくお願いたします。一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様のご健康をお祈り申し上げます。

【大会役員】

会長（工産会）	溝口 秀二	会長（東商）	麻沼 雅海
事業研修委員長	正村 宏人	事業研修副委員長	上原 勲
事業研修委員会委員	鈴木 芳久	事業研修委員会委員	都 政成
事業研修委員会委員	岡崎 伊佐央	事業研修委員会委員	中郡 一雄